

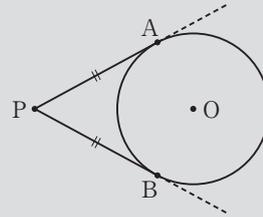
単元
25

円周角の定理の利用

覚えよう!

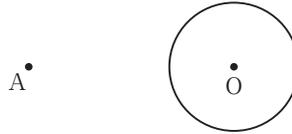
1 円と接線

円の外部にある1点から、この円に引いた2本の接線の長さは等しい。



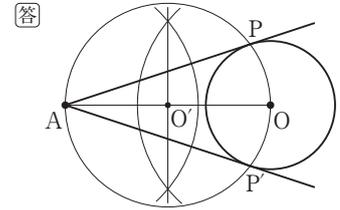
チェック1 円周角と作図(1)

例題 右の図で、点Aを通る円Oの接線AP, AP'を作図しなさい。

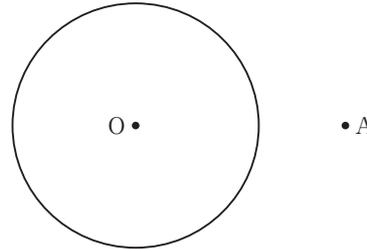


解 AP, AP' は円Oの接線だから、 $AP \perp OP$, $AP' \perp OP'$ となるので、PおよびP'はAOを直径とする円周上にあるといえる。

- 作図手順は、①AOの垂直二等分線をひき、AOの midpointをO'とする。
②中心がO', 半径がO'Aの円をかき、円Oとの交点をP, P'とする。
③AとPおよびAとP'を通る直線をひく。

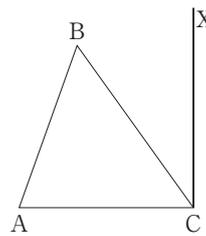


確認問題1 右の図で、点Aを通る円Oの接線AP, AP'を作図しなさい。

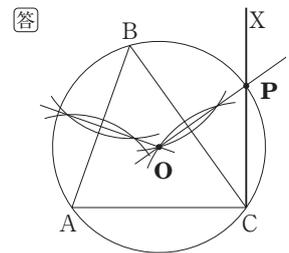


チェック2 円周角と作図(2)

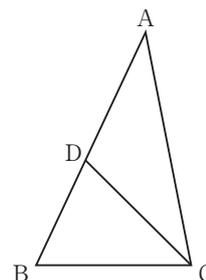
例題 右の図の半直線CX上に、 $\angle ABC = \angle APC$ となる点Pを作図しなさい。



解 3点A, B, Cを通る円と半直線CXとの交点をPとすれば、円周角の定理より、 $\angle ABC = \angle APC$
作図手順は、①AB, BCそれぞれについて垂直二等分線をかき、その交点をOとする。
②中心がO, 半径OAの円をかき、半直線CXとの交点をPとする。

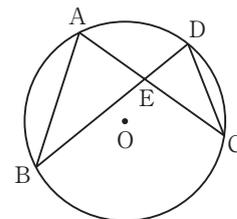


確認問題2 右の図の△ABCで、辺AB上に点Dをとる。辺AC上に、 $\angle BPC = \angle BDC$ となる点Pを作図しなさい。



チェック3 円周角と図形の証明

例題 右の図のように、円Oの円周上に4点A, B, C, Dがある。弦ACとBDとの交点をEとすると、△AEBと△DECであることを証明しなさい。



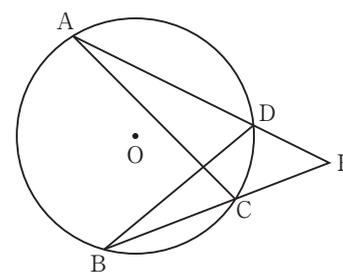
解 (証明) △AEBと△DECにおいて、
 \widehat{BC} に対する円周角は等しいから、
 $\angle BAE = \angle CDE \dots \text{①}$
 \widehat{AD} に対する円周角は等しいから、
 $\angle ABE = \angle DCE \dots \text{②}$
 ①, ②より、2組の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle AEB \sim \triangle DEC$

←対頂角は等しいから、
 $\angle AEB = \angle DEC$
 としてもよい

確認問題3 右の図で、 $PA : PC = PB : PD$ であることを次のように証明した。

□ []をうめなさい。

(証明) △ACPと△BDPにおいて、
 \widehat{CD} に対する円周角は等しいから、
 $\angle CAP = [\text{ア}] \dots \text{①}$
 また、 $\angle P$ は共通 $\dots \text{②}$
 ①, ②より、[イ] から、
 $\triangle ACP \sim \triangle BDP$
 よって、 $PA : PB = PC : PD$
 したがって、 $PA : PC = [\text{ウ}]$

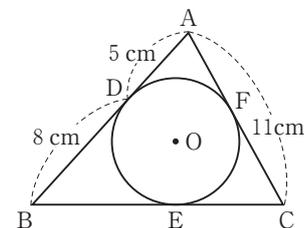


チェック4 円と接線

例題 右の図の△ABCで、3辺が円Oに、D, E, Fで接するとき、次の線分の長さを求めなさい。

- (1) BE (2) BC

解 (1) 円外の1点から、その円に引いた2本の接線の長さは等しいので、
 $BE = BD = 8 \text{ cm}$
 (2) $AF = AD = 5 \text{ cm}$, $EC = FC = AC - AF = 11 - 5 = 6 \text{ (cm)}$ だから、
 $BC = BE + EC = 8 + 6 = 14 \text{ (cm)}$



答 (1) 8 cm (2) 14 cm

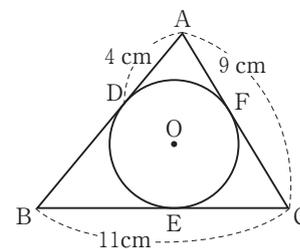
確認問題4 右の図の△ABCで、3辺が円OにD, E, Fで接する。

□(1) CEの長さを求めなさい。

[]

□(2) ABの長さを求めなさい。

[]



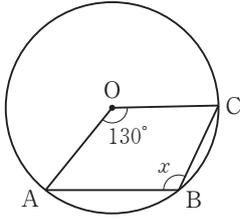
練習問題

その1

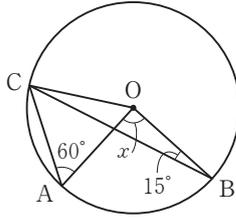
単元24
①

1 円周角の定理 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

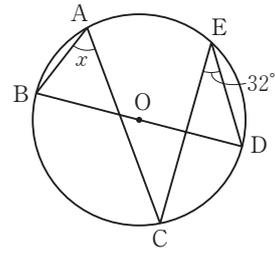
■(1)



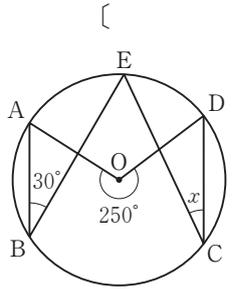
□(2)



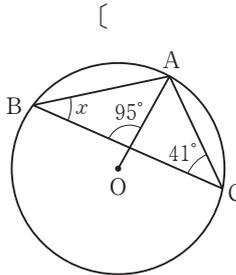
■(3)



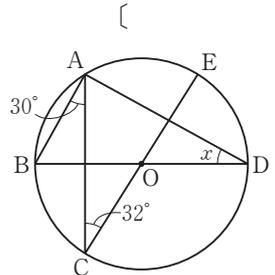
■(4)



□(5)



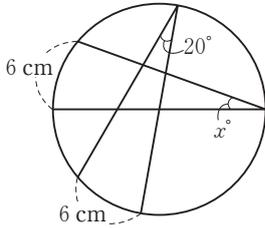
□(6)



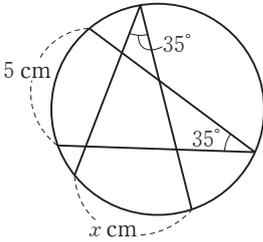
単元24
②

2 等しい弧と円周角 次の x の値を求めなさい。

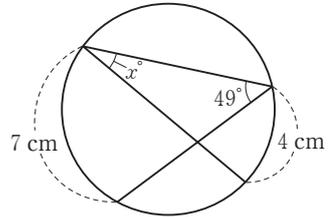
■(1)



■(2)



□(3)

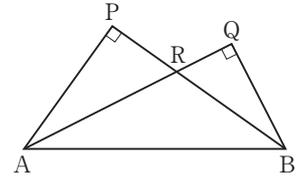


単元24
③

3 円周角の定理の逆 右の図で、 $\angle APB = \angle AQB = 90^\circ$ であり、点Rは線分AQ、BPの交点である。この図形について、次の[]をうめなさい。

■BPの交点である。この図形について、次の[]をうめなさい。

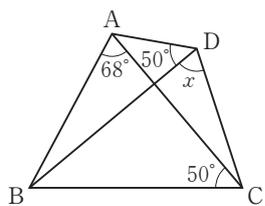
- ・4点P, A, B, [ア]は1つの円周上にある。
- ・点Pは線分[イ]または線分ARを直径とする円周上にある。



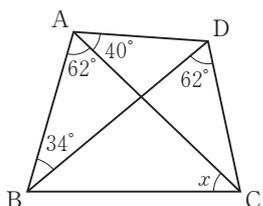
単元24
④

4 円周角の定理の逆 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

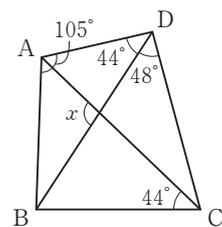
■(1)



■(2)



□(3)

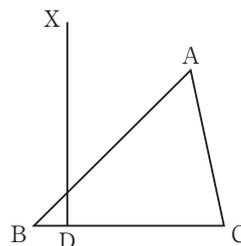
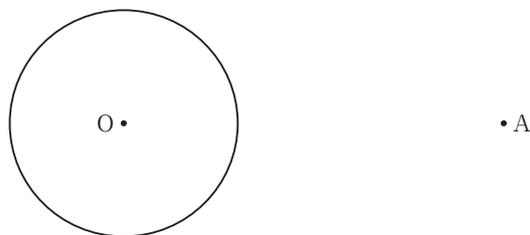


練習問題 その2

単元25
1, 2

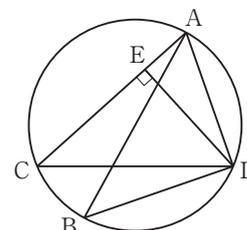
1 円周角と作図 次の問いに答えなさい。

- (1) 点Aを通る円Oの接線AP, AP'を作図しなさい。
 ■(2) 下の図の半直線DX上に、 $\angle BPC = \angle BAC$ となる点Pを作図しなさい。ただし、点Dは辺BC上の点とする。



単元25
3

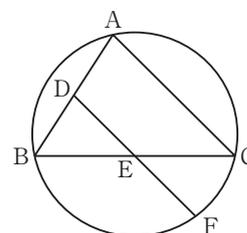
2 円周角と図形の証明 右の図で、線分ABは円の直径であり、点C, Dはこの円の周上にある。点Dから線分ACに垂線を引き、その交点をEとする。このとき、 $\triangle ABD \sim \triangle DCE$ であることを証明しなさい。



[]

単元25
3

3 円周角と図形の証明 右の図のように、3つの頂点が1つの円周上にある $\triangle ABC$ がある。辺ABの中点をDとし、辺BC上に点Eをとって、DEの延長と円周との交点をFとする。次の問いに答えなさい。



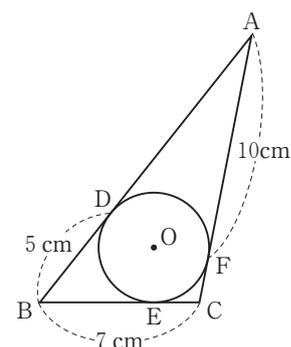
- (1) $AD = DE$, $\angle BAE = 40^\circ$ のとき、 $\angle ABE$ の大きさを求めなさい。
 []
- (2) $AC \parallel DF$, $AC = DF$ のとき、 $\angle ABC = \angle BAF$ であることを証明しなさい。

[]

単元25
4

4 円と接線 右の図の $\triangle ABC$ で、3辺が円OにD, E, Fで接するとき、次の線分の長さを求めなさい。

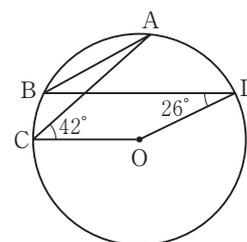
- (1) AB []
- (2) AC []



応用力UP!

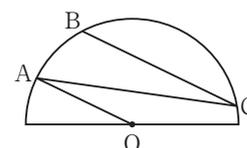
➤ Key プラス ~円の性質~

- 1** 右の図で、4点A, B, C, Dは、点Oを中心とする円の周上にあり、 $BD \parallel CO$ である。 $\angle ACO = 42^\circ$, $\angle BDO = 26^\circ$ であるとき、 $\angle ABD$ の大きさを求めなさい。



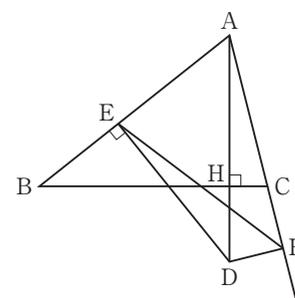
[]

- 2** 右の図のように、半円Oの周上に3点A, B, Cがある。点Oと点A, 点Aと点C, 点Cと点Bをそれぞれ結ぶ。 $OA \parallel CB$, $\widehat{AB} : \widehat{BC} = 1 : 3$ のとき、 $\angle ACB$ の大きさを求めなさい。



[]

- 3** 右の図のように、 $\triangle ABC$ の頂点Aから辺BCに垂線AHを引き、AHの延長上の点Dから辺ABに垂線DEを引く。次に、辺ACの延長上に、 $\angle DAF = \angle DEF$ となるように点Fをとる。次の問いに答えなさい。



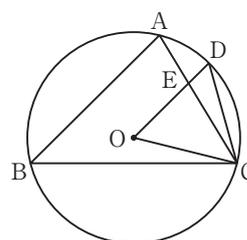
- (1) $\triangle ABH \sim \triangle ADE$ を証明しなさい。

[]

- (2) 4点B, F, C, Eは、1つの円周上にあることを証明しなさい。

[]

- 4** 右の図のように、円Oの周上に4点A, B, C, Dがあり、 $\angle ABC = \angle ACO$, $\widehat{AB} = 2\widehat{CD}$ である。また、ACとDOとの交点をEとする。次の問いに答えなさい。



- (1) $\triangle ABC \sim \triangle ECO$ であることを証明しなさい。

[]

- (2) $\angle ABC$ の大きさを求めなさい。

[]

次の空欄をうめなさい。

1 円周角と中心角

単元24

〈円周角の定理〉

図1のように、円Oの \widehat{AB} に対して、 \widehat{AB} を除いた円周上に点Pをとるとき、 $\angle APB$ を \widehat{AB} に対する **ア** という。



1つの弧に対する円周角は、その弧に対する中心角の **イ** である。

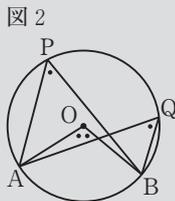


図2で、

$\angle APB = \frac{1}{2} \angle$ **ウ**

1つの弧に対する円周角はすべて **エ**。

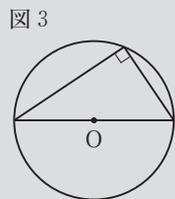


図2で、

$\angle APB = \angle$ **オ**

半円の弧に対する円周角は

カ である。(図3)

〈弧と円周角〉

1つの円において、等しい弧に対する円周角は **キ**。等しい円周角に対する弧は **ク**。

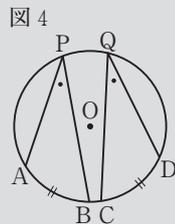


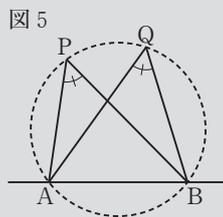
図4で、

$\angle APB = \angle CQD$ ならば、 $\widehat{AB} =$ **ケ**

$\widehat{AB} = \widehat{CD}$ ならば、 $\angle APB = \angle$ **コ**

〈円周角の定理の逆〉(図5)

2点P, Qが直線ABについて同じ側にあるとき、 $\angle APB = \angle$ **サ** ならば、4点A, P, Q, Bは1つの円周上にある。



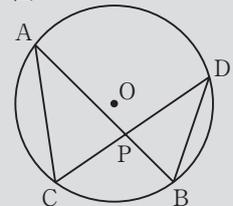
2 円周角の定理の利用

単元25

〈円周角と図形の証明〉

円周角の定理を利用すると、いろいろな図形の性質を証明することができる。

図6で、 $\triangle ACP$ と $\triangle DBP$ は相 **ア** 似である。



このことは次のように証明することができる。

$\triangle ACP$ と $\triangle DBP$ において、**ア** の定理より、

\widehat{CB} に対する円周角は等しいから、 $\angle A =$ **イ** ……①

同様にして、

$\angle C =$ **ウ** ……②

①, ②より、2組の **エ** がそれぞれ等しいから、

$\triangle ACP \sim \triangle$ **オ**

〈円と接線〉

円の外部にある1点から、この円に引いた2本の **カ** の長さは等しい。

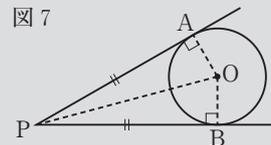


図7で、PA, PBが円Oの接線のとき、

PA = **キ** となる。

このことは、次のように証明することができる。

$\triangle PAO$ と $\triangle PBO$ において、

PA, PBは円Oの接線だから、 $\angle PAO = \angle$ **ク** = **ケ**

円Oの半径だから、OA = **コ**

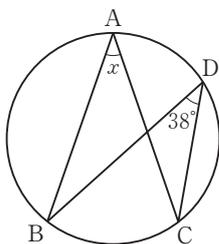
また、POは共通

よって、直角三角形の斜辺と他の **サ** がそれぞれ等しいから、 $\triangle PAO \equiv \triangle$ **シ**

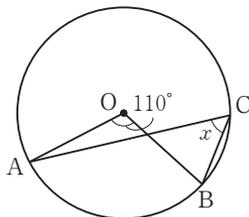
したがって、PA = PB

1 円周角の定理 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

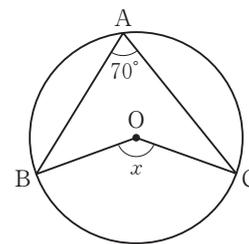
■(1)



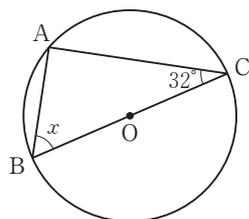
■(2)



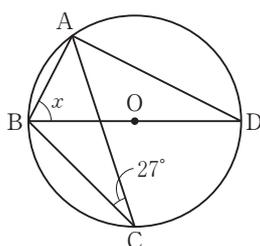
■(3)



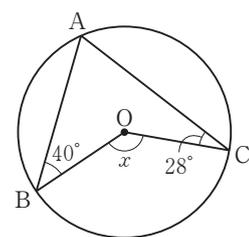
■(4)



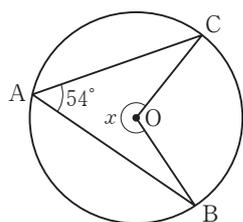
□(5)



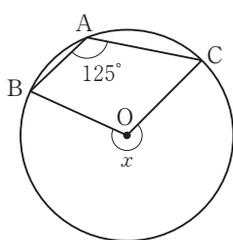
□(6)



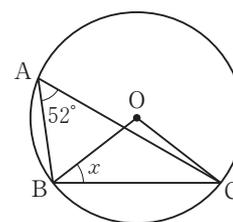
■(7)



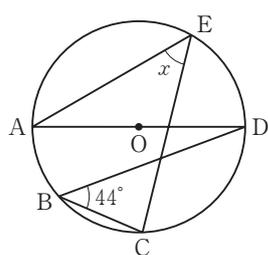
■(8)



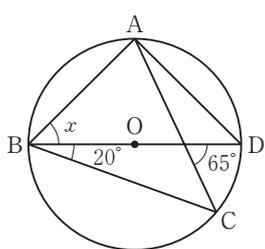
■(9)



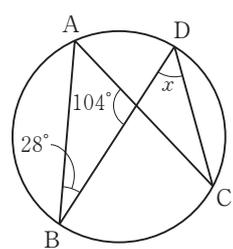
■(10)



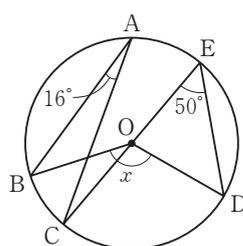
■(11)



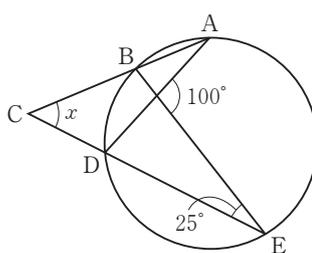
□(12)



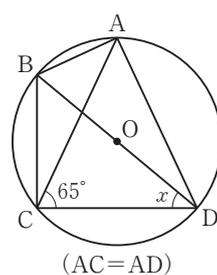
□(13)



□(14)



□(15)

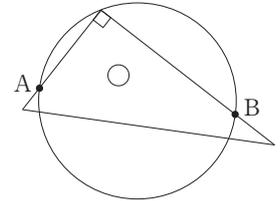


① 三角定規と円の中心

1 次の問いに答えなさい。

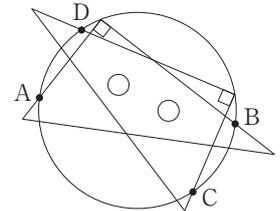
- (1) 右の図1のように三角定規をあてると、線分ABは円の直径になる。その理由を説明しなさい。

図1



- (2) 右の図2のように、さらに、もう1つ三角定規をあてると、線分ABと線分CDの交点は円の中心となる。その理由を説明しなさい。

図2

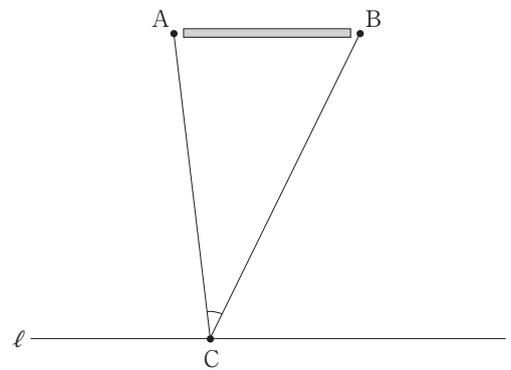


② 撮影の位置

2 ある看板を、看板全体がぴったり入るように撮影する。

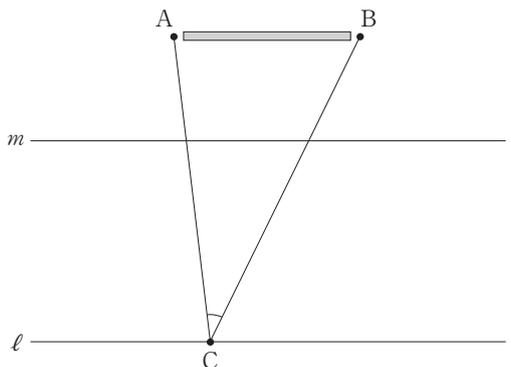
- (1) 撮影位置は、図1の直線 l 上とし、直線 l 上の点Cから撮影したとき、看板全体がぴったり入るとする。直線 l 上で看板全体がぴったり入る撮影位置は、点C以外にもあり、その撮影位置を点Dとする。点Dを右の図に作図しなさい。ただし、撮影位置が変わっても、カメラで撮影できる角度(図1の $\angle ACB$)は一定とする。

図1



- (2) 撮影位置を、直線 l と直線 m の間とした場合の撮影位置を、図2に作図しなさい。ただし、直線 l 、 m 上の点をふくむものとする。また、カメラで撮影できる角度は(1)同様に、一定とする。

図2



① 円の性質と証明

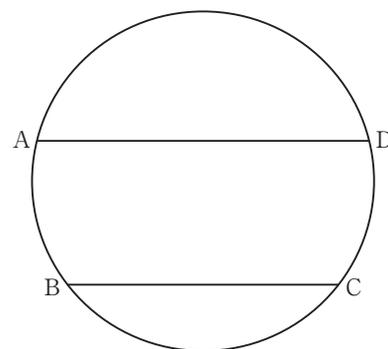
1 右の図で、A、B、C、Dは円周上の点である。次の問いに答えなさい。

□(1) $AD \parallel BC$ ならば、 $\widehat{AB} = \widehat{CD}$ であることを証明しなさい。

[]

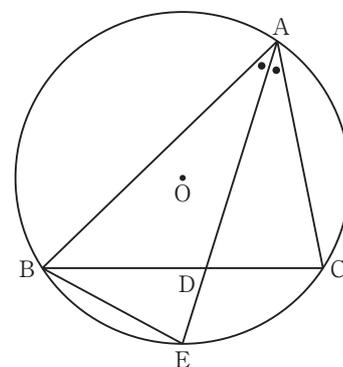
□(2) $\widehat{AB} = \widehat{CD}$ ならば、 $AD \parallel BC$ であることを証明しなさい。

[]



2 右の図で、A、B、Cは円Oの周上の点である。 $\angle A$ の二等分線と辺BC、円Oとの交点をそれぞれD、Eとすると、 $\triangle ABE \sim \triangle BDE$ であることを証明しなさい。

[]



3 右の図で、A、B、Cは円周上の点で、 $\triangle ABC$ は正三角形である。 \widehat{AB} 上に点Dをとり、線分DBの延長上に $ED = EC$ となる点Eをとるとき、次の問いに答えなさい。

□(1) $\triangle CDE$ は正三角形であることを証明しなさい。

[]

□(2) $AD = BE$ であることを証明しなさい。

[]

